

第7回 特定個人情報保護評価「第三者点検」 議事録

日 時	平成28年9月27日(火) 10:00~11:00
項 目	国民健康保険に関する事務に係る特定個人情報保護評価及び国民年金に関する事務に係る特定個人情報保護評価について(公開審議)
出席者	審査会委員 河原会長、原田委員、櫻井委員、日高委員、松木委員 保健福祉局健康医療部保険年金課 花田課長、保坂係長、福井係長、広村係長 総務局情報政策部情報政策課 4名
事務局	総務局文書館 西之原館長、三山係長、奥野主任
傍聴人	0人
内 容	

「国民健康保険に関する事務」及び「国民年金に関する事務」の特定個人情報保護評価について、一括して審議する。(審議内容:主にリスク対策の妥当性)

8月4日開催の個人情報保護審査会で審議された内容について、資料を配付。

配付資料

- ・国民健康保険情報ファイルの取扱いプロセスにおけるリスク対策の概要
- ・国民年金情報ファイルの取扱いプロセスにおけるリスク対策の概要
- ・契約書等記載事項確認表
- ・8月4日個人情報保護審査会におけるリスク対策に関する質問

(事務局) 事務局より資料内容を説明。

(保険年金課) 諮問庁からの補足は特になし。

審議・質疑応答

(審査会委員) リスク対策の概要で、6ページ目の特定個人情報の漏えい・紛失のところで、ウイルス対策ソフトについて、パターンファイルが最新版に適用されるように管理しているとのことだが、インターネットが外部に繋がっていない状況でどのように最新版を適用しているのか。

(情報政策課) 隔離されているというのが、物理的に完全に切断されているという隔離とセキュリティ対策を練った上で壁を設けるといふ隔離の仕方があるが、パターンファイルを入手する時には、高い壁を設けてその壁に一本穴を通して、そこからパターンファイルの情報だけ入手して、それを庁内に展開していくという形になっている。認められた穴だけ開けて入手している。あとは業者から、認められたUSBでパターンファイルを持ってきてもらいそれを庁内に展開していくこともある。

(審査会委員) ウイルス対策ソフトは、通常よりセキュリティが高い特殊なものか。

(情報政策課) 基本的にはウイルス対策ソフトは100点満点ではなく、次々に新しいものが出てくるため、できるだけ最新のものを入れているようにしている。

(審査会委員) 同じ会社のものを入れているか。

(情報政策課) 基本的には同じ会社のものである。

(審査会委員) 庁内のシステムは完全にクローズではないのか。

- (情報政策課) 住民情報を取り扱うシステムの方はクローズ。ファイアウォールで特定の通信しかできないようになっている。
- (審査会委員) クローズというのは、ファイアウォールがあるからクローズと言っているのか。
- (情報政策課) ファイアウォールで完全に隔離されているのでクローズと言っている。
- (審査会委員) 職員に情報セキュリティ研修を年1回行っているということだが、研修はどのくらいの時間行われているのか。
- (情報政策課) eラーニングという形で業者に提供してもらっており、コース・人にもよるが、2時間から4時間ぐらいかかる。
- (審査会委員) eラーニングだと各章ごとに確認テスト等があると思うが、テストは行っているか。
- (情報政策課) 確認テストはある。何点以上取らないとやり直さなければいけない、となっている。所属長が職員の成績をチェックしている。
- (審査会委員) 許可されたUSBという表現が出てくるが、許可されたUSBというのは決まった業務にしか使わないものだと思うが、ウイルスチェックは行っているか。
- (情報政策課) 行っている。
- (審査会委員) 委託先には誓約書をとっているという話だったが、委託先から派遣されてくる個人に対しての誓約書はとっているか。
- (情報政策課) とっている。
- (審査会委員) 以上を踏まえ、答申書を作成する。

意見聴取終了。